綿貫観音山古墳（高崎市）

これは南西側から見た綿貫観音山古墳/6世紀後半の築造で2段築成の前方後円墳（左手が前方部、右手は後円部）/後円部の中段面に横穴式石室が開口しているのが見てとれる/前方部と後円部の高さがほぼ同じ（前方部の幅と後円部の径もほぼ同じ）

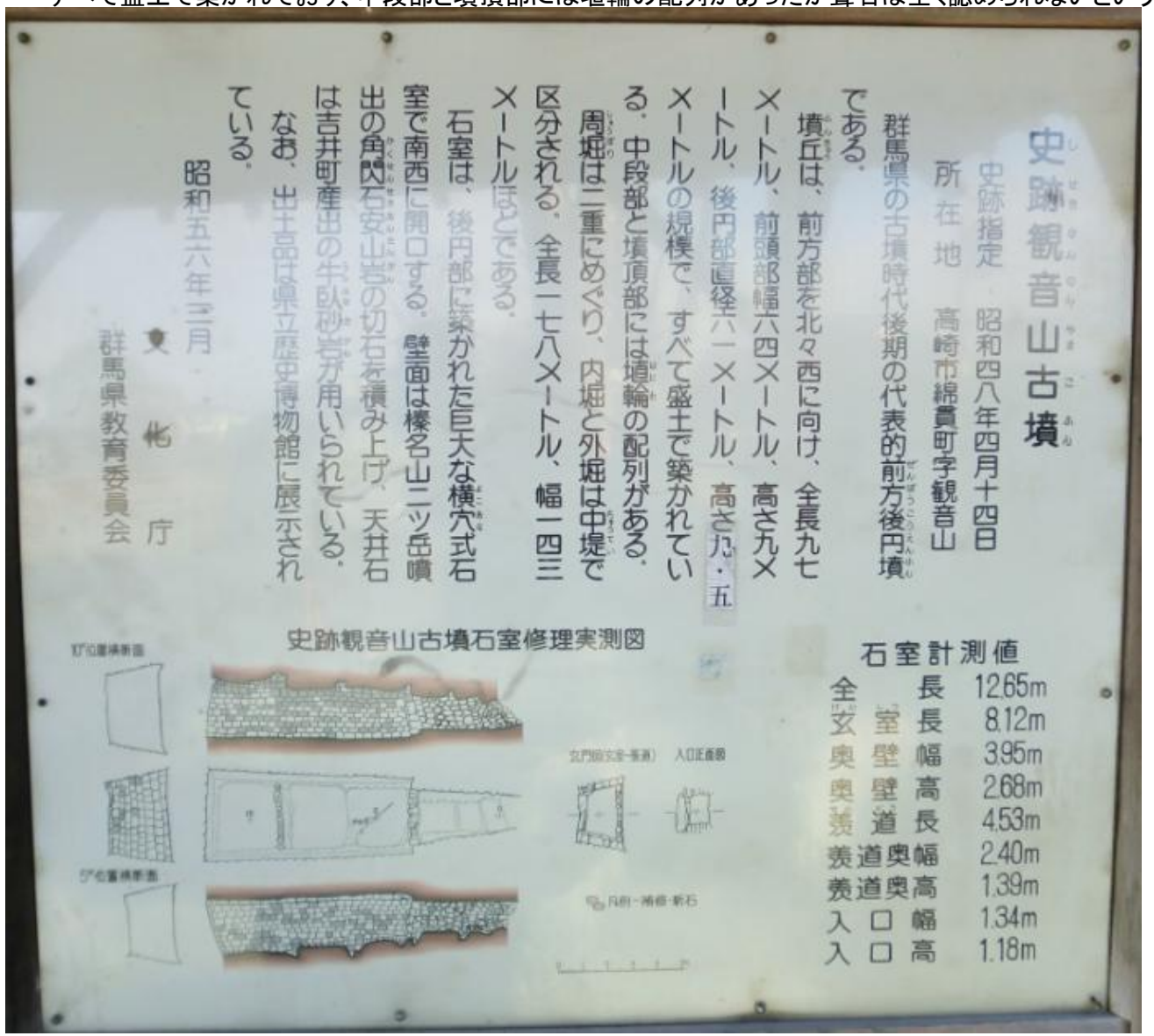
南南西側から見たところ/史跡の銘板が据えられている

その近くに各種説明板があった

綿貫観音山古墳は4基の比較的大型の前方後円墳を主墳として綿貫古墳群の中で最後に築造された1基

墳丘の周りには二重の馬蹄形の周堀が巡っており、内堀と外堀は中堤で区分されている

すべて盛土で築かれており、中段部と墳頂部には埴輪の配列があったが葺石は全く認められないという

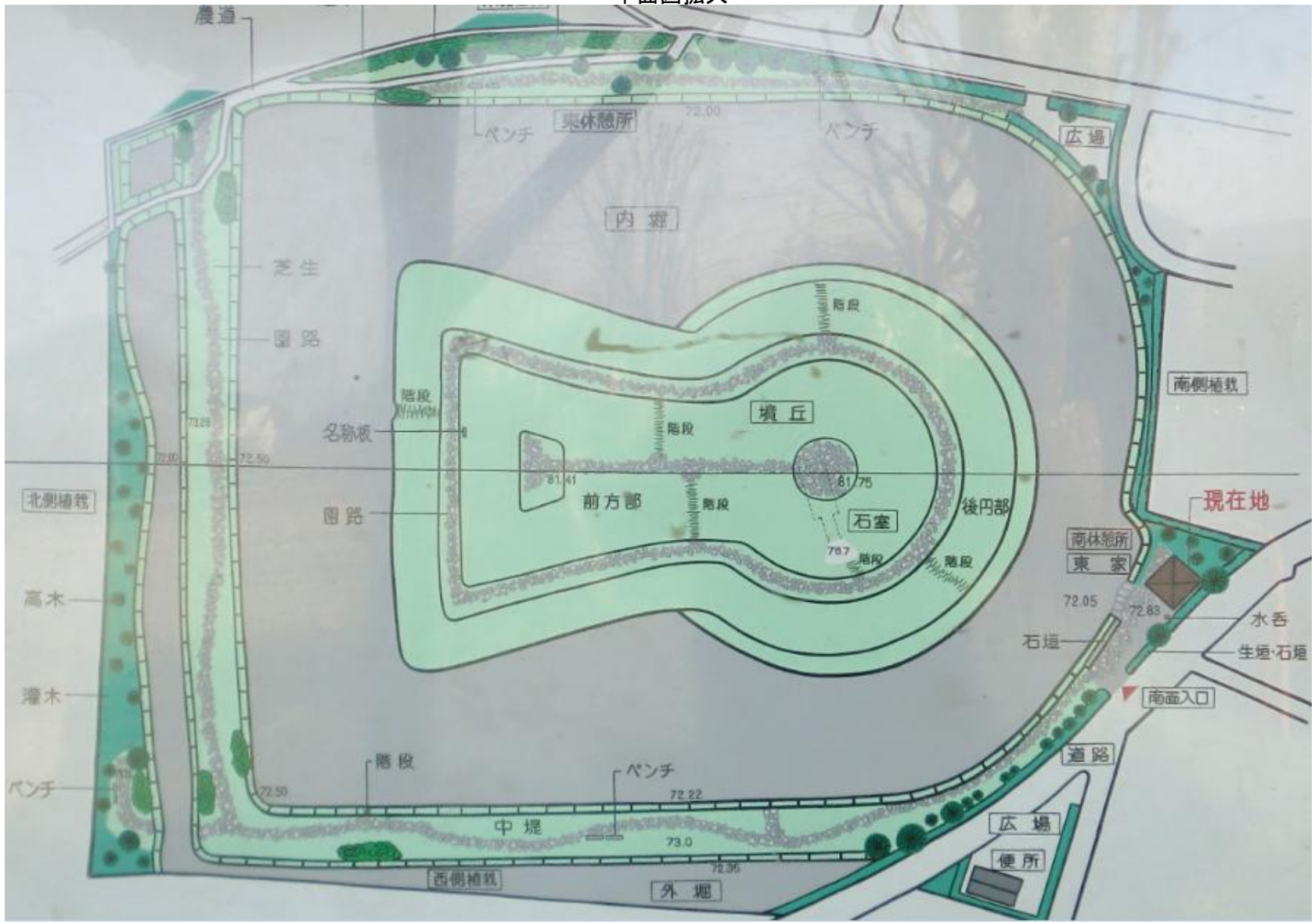


古墳公園として素晴らしい状態に整備保存されている

史跡 観音山古墳
観音山古墳と出土遺物
石室内出土品
華麗な金属工芸品
観音山古墳全体図
観音山古墳の埋葬施設
はにわの世界 ―古墳のまつり―

観音山古墳をつくる
馬具の名前
群馬の古墳時代
いろいろな形の古墳
前方後円墳
前方後方墳
方墳
円墳
古墳王国群馬
観音山古墳周辺案内図
世界ー古墳のまつりー

平面図拡大


農道
ベンチ
東休憩所
72.00
ベンチ
広場
内 濠
芝 生
園 路
階段
名称板
階段
階段
墳 丘
73.25
72.50
81.41
81.75
前方部
階段
石室
後円部
園 路
76.7
階段
階段
南側植栽
現在地
北側植栽
南休憩所
東 家
高木
72.05
72.83
水 呑
石垣
生垣・石垣
灌木
南面入口
道 路
ベンチ
階段
ベンチ
72.50
72.22
中 堤
73.0
広 場
便 所
72.36
西側植栽
外 堀

さて、南側から墳丘を登ってみよう/ここにも説明板が立っている

右から三番目の三人童女埴輪は国内ではきわめて稀例に属するもので、韓国で出土しているのでその関連性が指摘されているらしい

観音山古墳の埴輪

古墳の多い群馬県には、すぐれた埴輪がたくさん知られています。なかでも、この観音山古墳からは、造形的にもりっぱなものが多く発見されていることで有名です。

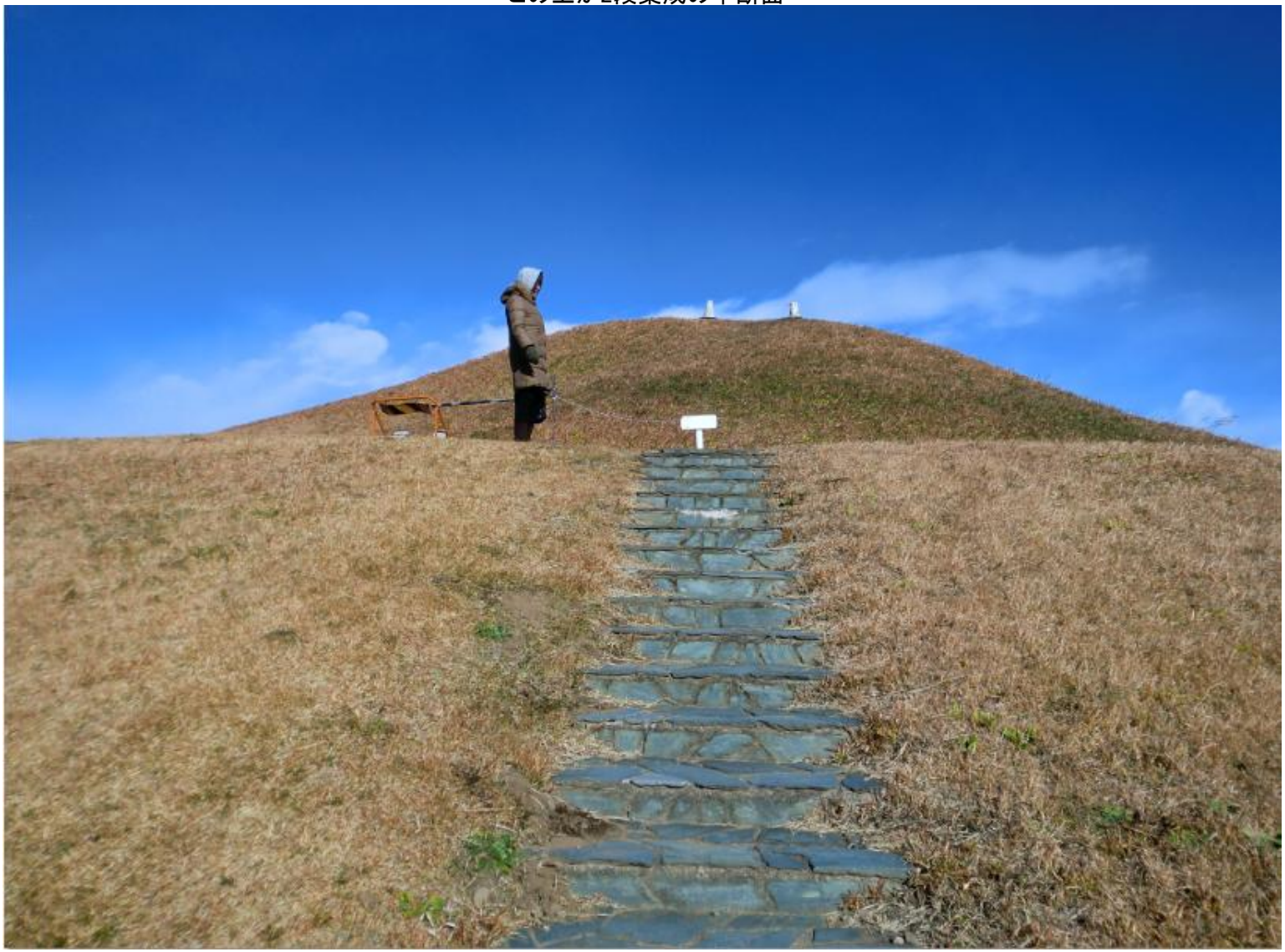
墳丘の頂上部には、後円部に円筒列で囲んだ中に家・盾・にわとり・大刀、前方部にも家や盾など、ここに葬られた豪族の安住の館を表現したともいわれる埴輪が置かれていました。

中段の平坦面には、石室の入口付近に、祭りを行う一組の盛装した男女とその従者と考えられる三人童女・弓を負う武人・食物を捧げる人からなる祭人グループ、それに続いて、盛装の男子・甲冑を着けた武人・鍬を負う農夫などの葬送儀式に加わる人々とそれを警護する盾持ち人が続き、前方部には地位や財力を表す飾馬と馬引きなど、古墳時代の人々の生活や風俗・習慣をうかがわせる埴輪が並べられていました。

これらの埴輪は、石室から発見された副葬品などとともに、群馬の森の県立歴史博物館で展示されています。

農夫　武人　農人　御食持ち　巫女　三人童女　男覡　家

この上が2段築成の中断面



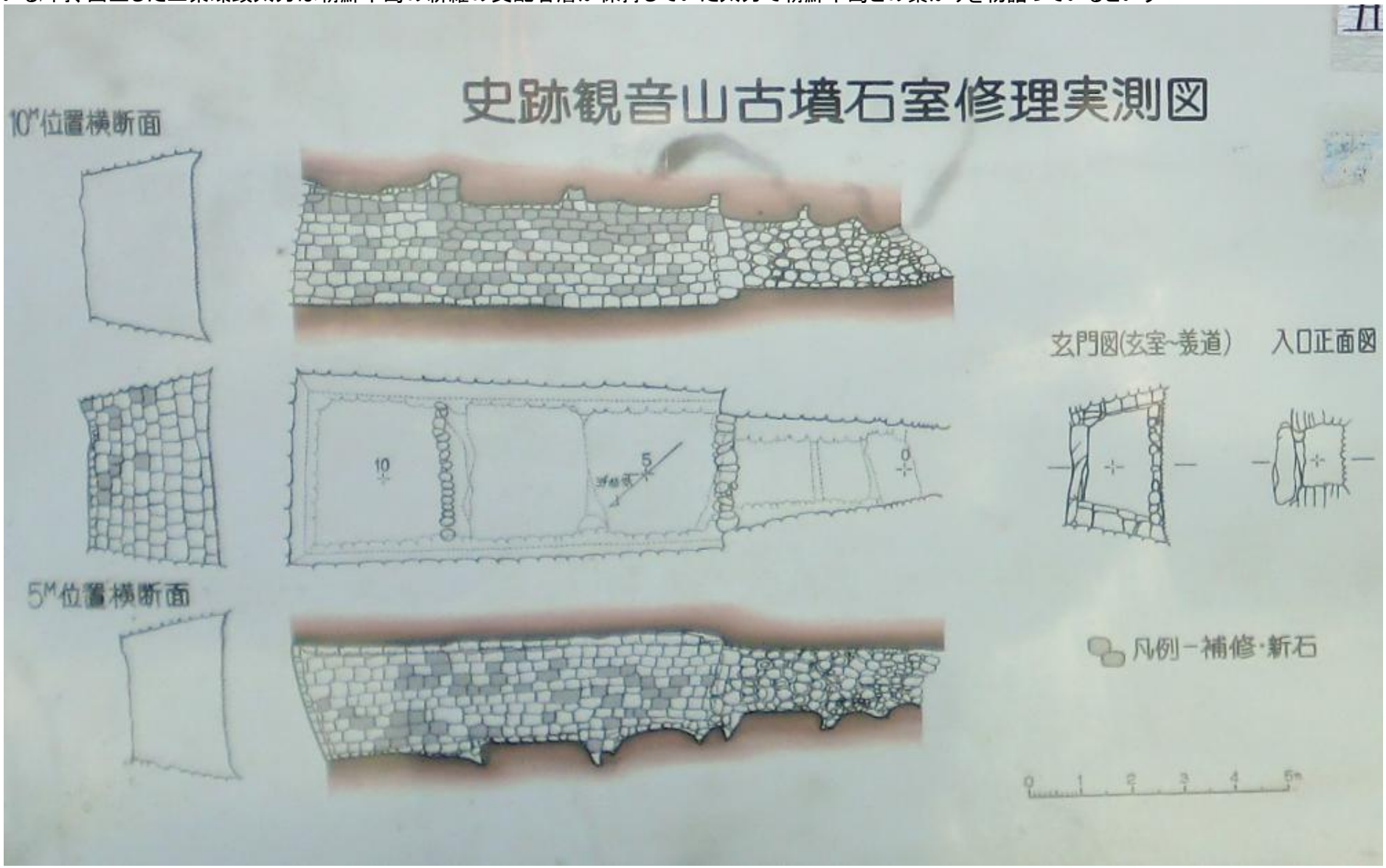
正面に「後円部」と記された標識石が据えられている

左手に進むと横穴式石室の入り口がある

これが後円部にある横穴式石室

壁面は榛名山二ツ岳噴出の角閃石安山岩を削り加工した切石を積み上げ（角閃石安山岩削石積石室と呼ばれる）、天井石は吉井町産出の牛臥砂岩が用いられている/これらの巨石は石を切り出した後、舟を使い、そりで引き上げたと考えられている

石室の規模は群馬県最大/この古墳の石室は、崩れていたため墓盗人が掘り出すことができず、未盗掘の状態だったという/玄室から出土した獣帯鏡は韓国の公州で発見された百済・武寧王陵の石室内から出土した獣帯鏡と同笵鏡であり、同じく出土した銅製水瓶とともに東アジアとの交流を示すものとされている/尚、出土した三累環頭太刀は朝鮮半島の新羅の支配者層が保持していた太刀で朝鮮半島との繋がりを物語っているという



さて、石室の中を覗いてみよう

手前が羨道、奥が玄室/両袖型石室となっている/壁面は角閃石安山岩の切石を積み上げ、玄室壁面は互目積みとなっている

正面は奥壁/天井石は牛臥砂岩の巨大な自然石

さて、前方部方向へ墳丘を回ってみよう/墳頂への階段があるところは「くびれ部」

「鞍部」(くびれ部のこと)と記された標識石が据えられている

「くびれ部」から前方部沿いに北方向を見たところ/左手は周堀

これは前方部から後円部方向を見たところ

これは右手の周堀を見下ろしたところ

これは北方向から前方部を見上げたところ/「前方部」と記された標識石が据えられている

これは前方部を東側から西方向へ見たところ/右手は周堀

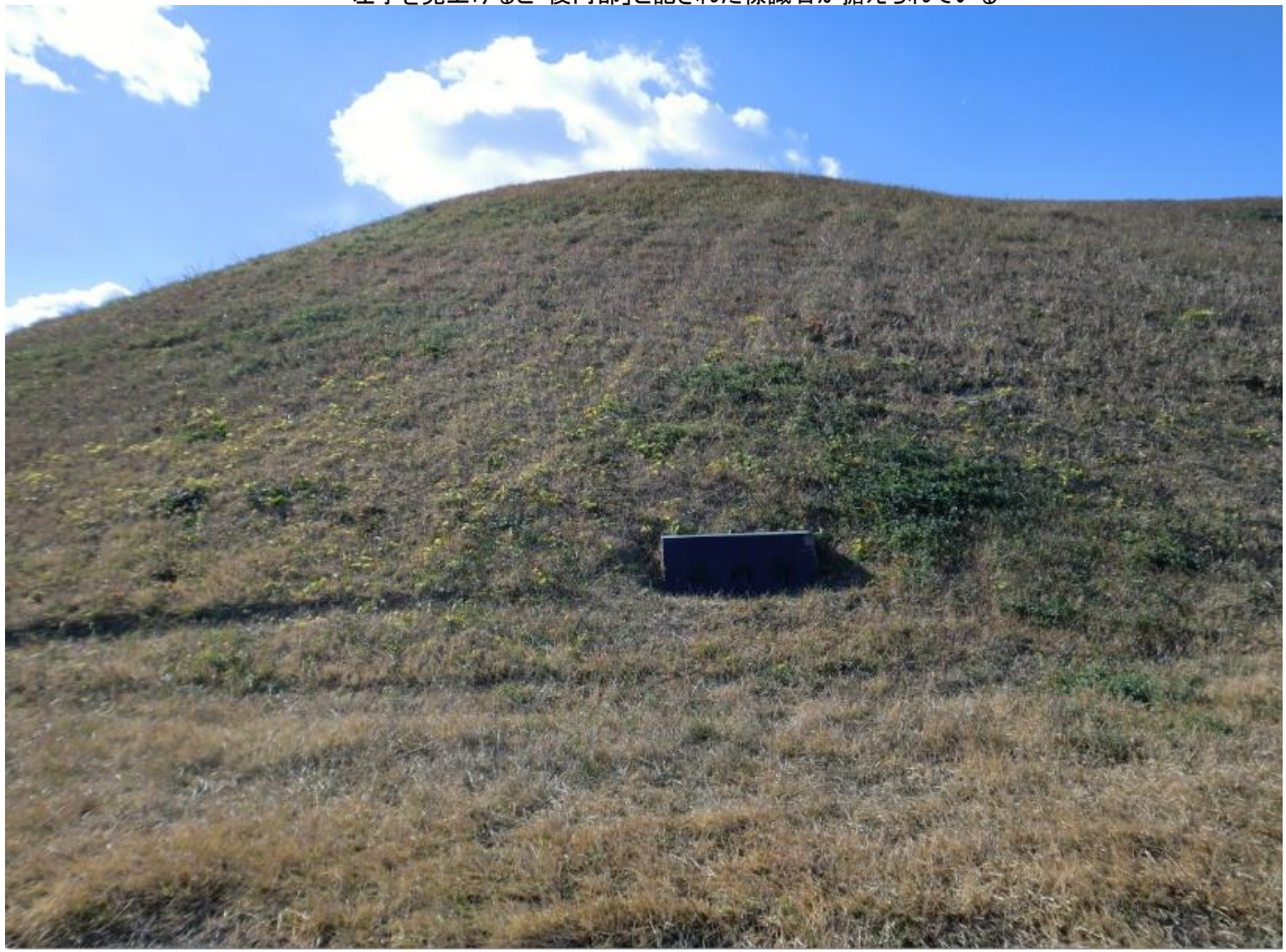
これは前方部から後円部方向を見たところ

これは左手の周堀を見下ろしたところ

これは後円部から前方部方向を見たところ

これは右手の周堀を見下ろしたところ

左手を見上げると「後円部」と記された標識石が据えられている



さて、これは後円部墳頂から前方部方向を見たところ/遥か遠方やや左手には石室の壁面に使用されている角閃石安山岩を産出した榛名山二ツ岳が見える

これは前方部墳頂から後円部方向を見たところ/確かの前方部と後円部の高さはほぼ同じである

右手の周堀を見下ろしたところ

左手の周堀を見下ろしたところ

これは前方部墳頂で榛名山二ツ岳（正面）方向を眺めたところ

これは前方部墳頂で赤城山（正面やや右手）方向を眺めたところ

さて、これは南東側から墳丘全体を見たところ

これは北東側から墳丘全体を見たところ

これは南側から見た前方部墳丘と周堀そして中堤/中堤の更に右手にはもう一つ周堀（外堀）が巡っていた

これは北側の中堤から周堀越しに前方部を見たところ

これは北西側の中堤から周堀越しに墳丘全体を見たところ

これは周堀から西側の中堤を見たところ/手前の標識石には「内堀」、向こうの標識石には「中堤」と記されている

これはその中堤を南側から北方向へ見たところ/右手が内堀で左手が外堀という二重の周堀となっている

振り返って南方向を見たところ

参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/takasaki_kannon2/

http://ja.wikipedia.org/wiki/%E7%B6%BF%E8%B2%AB%E8%A6%B3%E9%9F%B3%E5%B1%B1%E5%8F%A4%E5%A2%B3

http://www.pref.gunma.jp/03/x4510004.html

http://www.manabi.pref.gunma.jp/bunkazai/m102214.htm

http://www13.atpages.jp/ootama/page192.html

http://kofunnomori.web.fc2.com/gunma/takasaki/kannon.htm

http://members3.jcom.home.ne.jp/yoshi-cp/watanuki.htm

http://blog.goo.ne.jp/ymmtyz/e/3c9691efe78bdd1e879729738f13e477

http://www13.plala.or.jp/gunmanotabi/kofun-sub/kf-kannonyama.html

http://palo.dip.jp/tabi/kannon/kohun01.html

http://inoues.net/club3/gunma_kannon.html

セール前橋倉庫店
高崎健康福祉大
群馬県立高崎東高
高崎市立高南中
滝川郵便局
群馬ヘリポート
進雄神社
関越自動車道
角田病院
玉村町役場
玉村町
群馬県立女子大
(株)武蔵野
サンビエール病院
倉賀野
群馬県立近代美術館
高崎線
高崎市立倉賀野中
鏑川
烏川
ザ・ガーデンゴルフクラブ
高崎商科大
(株)サニクリーン東京 群馬工場
Google